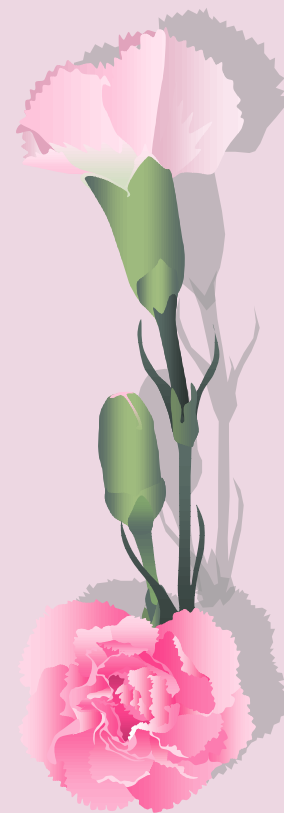


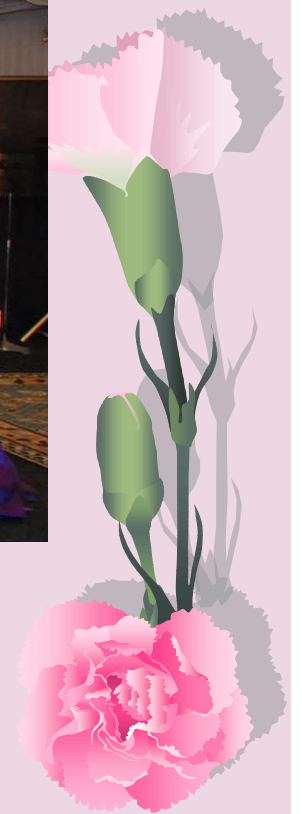
中山輝也様の 渋沢栄一賞受賞をお祝いする 集い



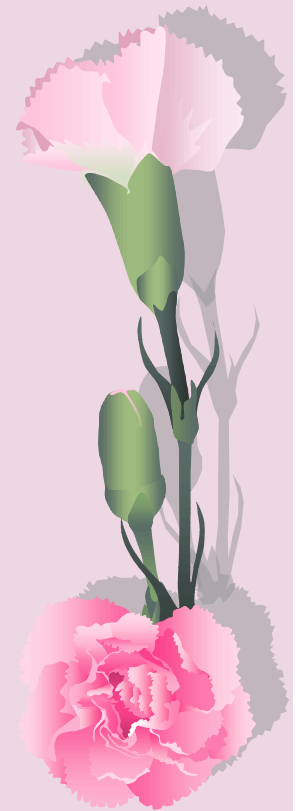
平成23年3月8日午後6時~
ニューオータニイン東京
「おおとりの間」



お祝い会のご出席者全員

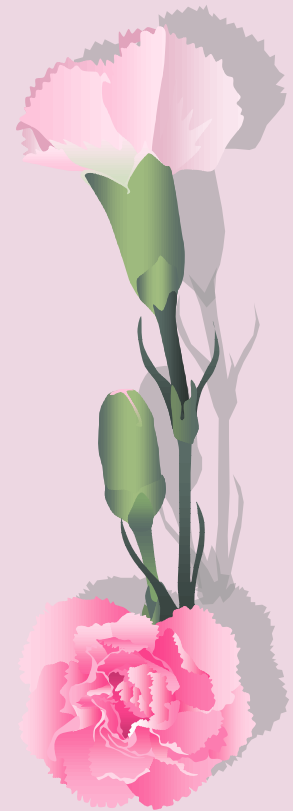


司会
(社)日本技術士会副会長 内村好様



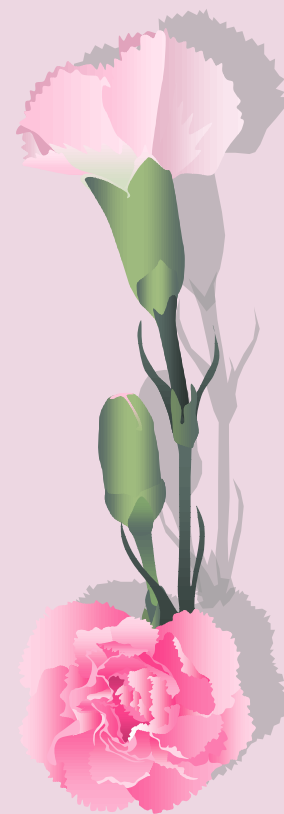
開会のことば

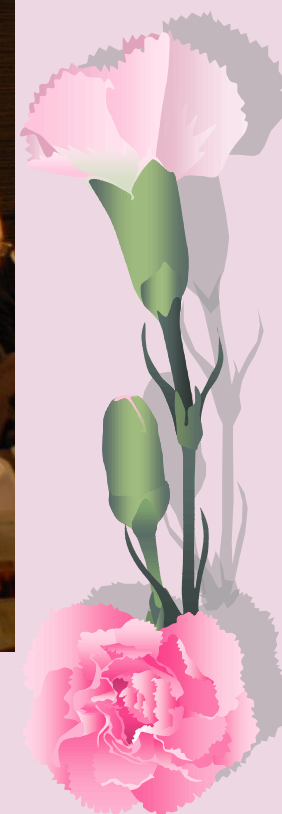
(社) 日本技術士元副会長 吉武進也様



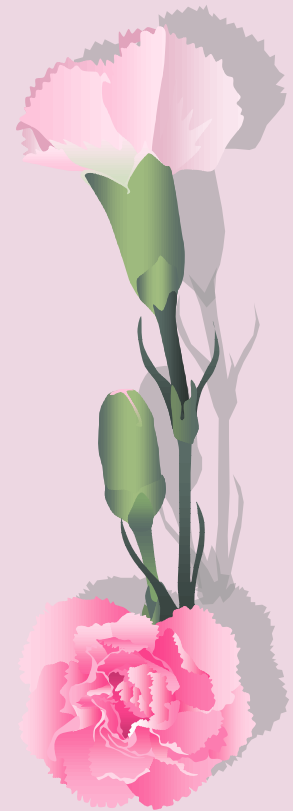


会長・発起人挨拶
(社) 日本技術士会会長 高橋修様

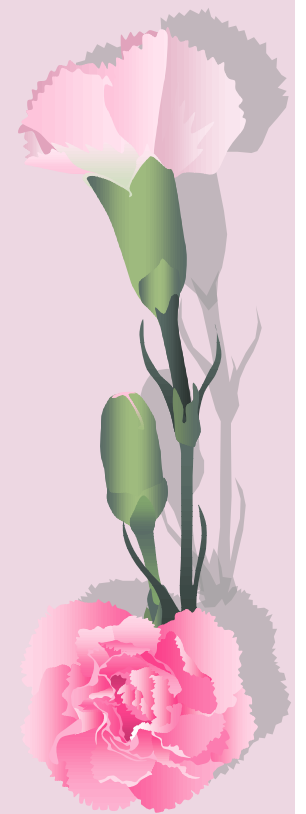




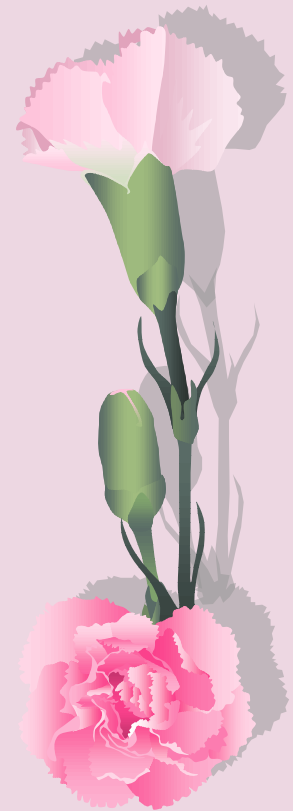
お祝いの言葉
(社) 日本技術士会顧問・元会長
梅田昌郎様



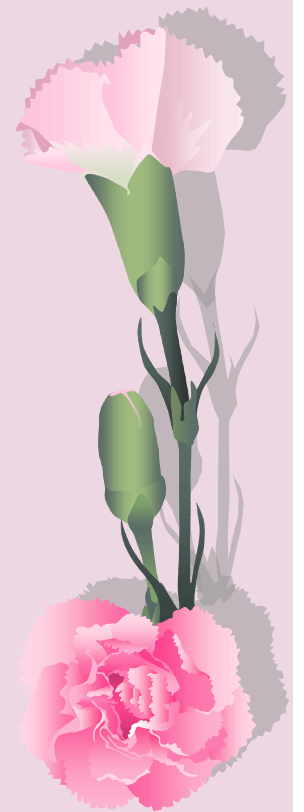
お祝いの言葉
(社) 日本技術士会顧問・前会長
都丸徳次様



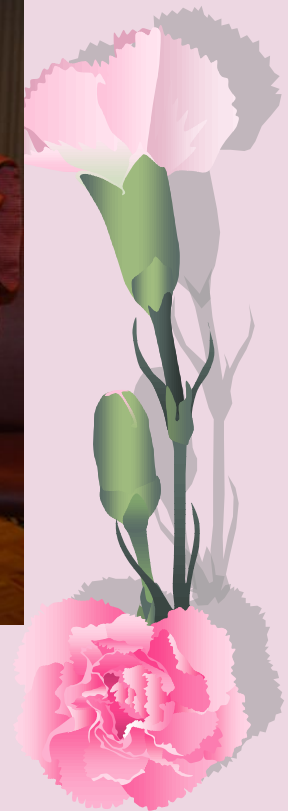
記念品贈呈
(社) 日本技術士会顧問・元会長
佐藤清様



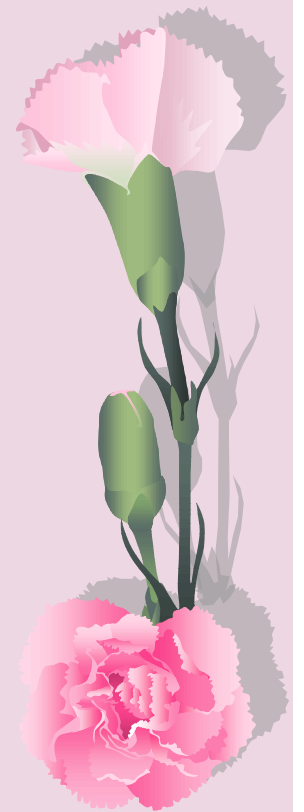
記念品贈呈



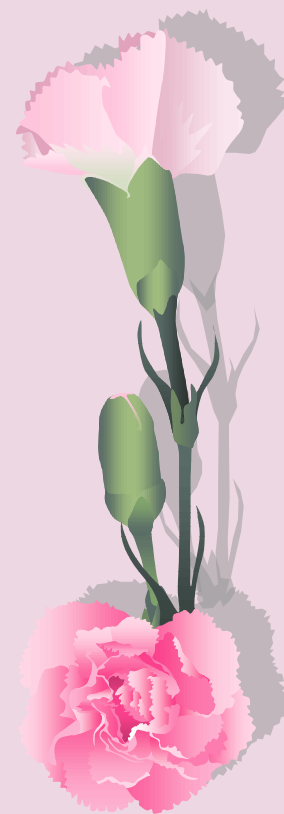
花束贈呈



花束贈呈



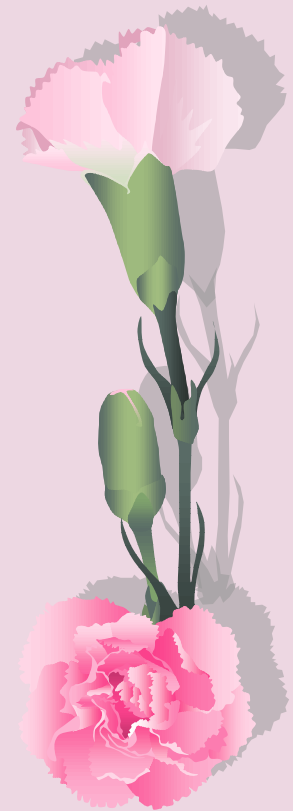
謝辞
渋沢栄一賞受賞者 中山輝也様



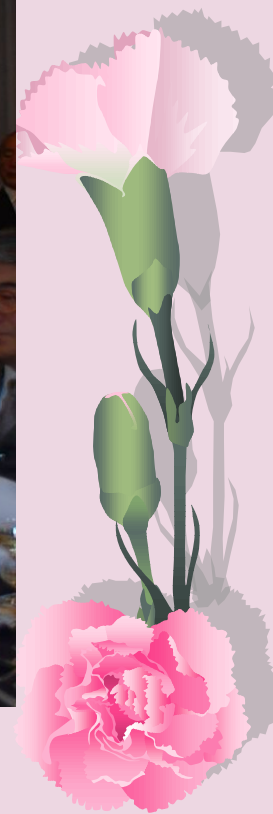
謝辞



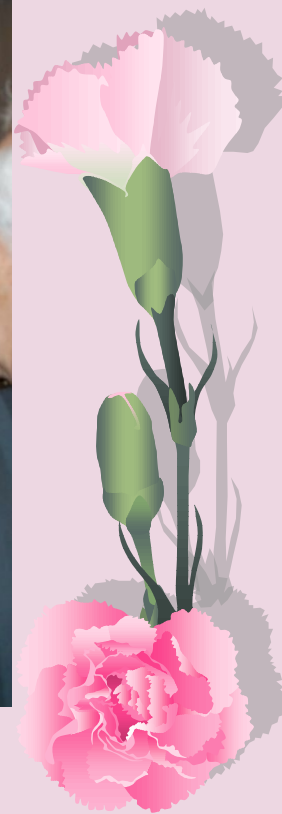
乾杯
(社) 日本技術士会顧問・元会長
清野茂様



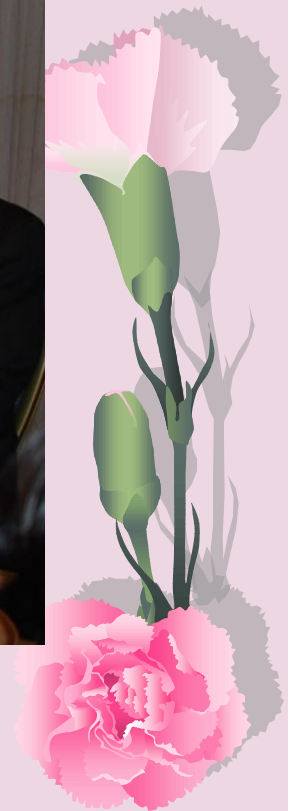
乾杯のことば



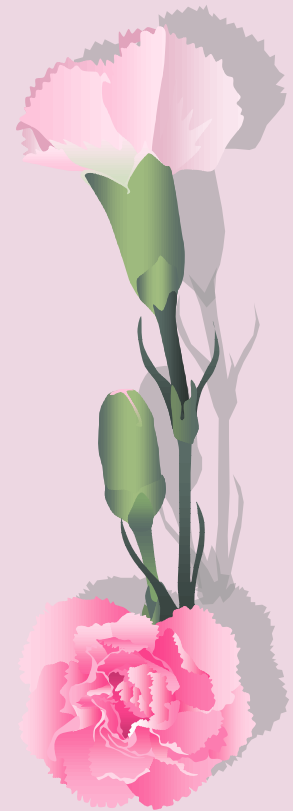
乾杯



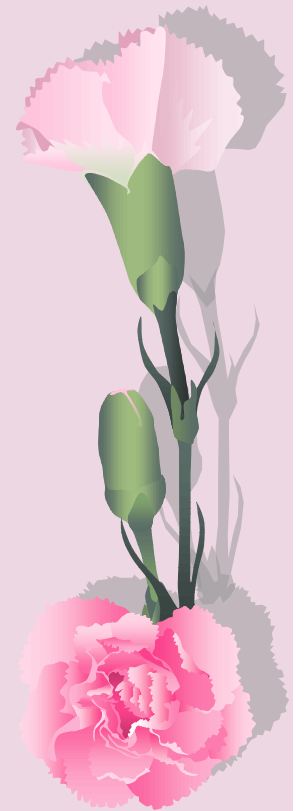
会食・懇談

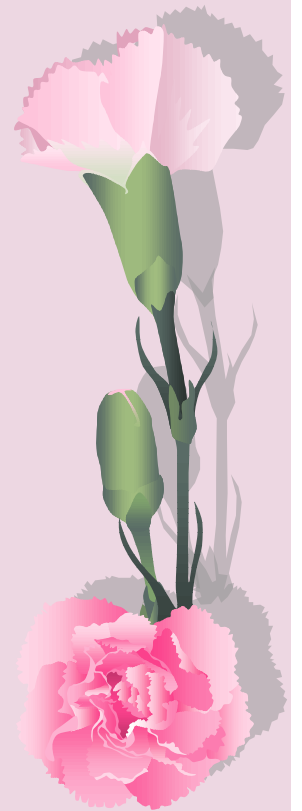


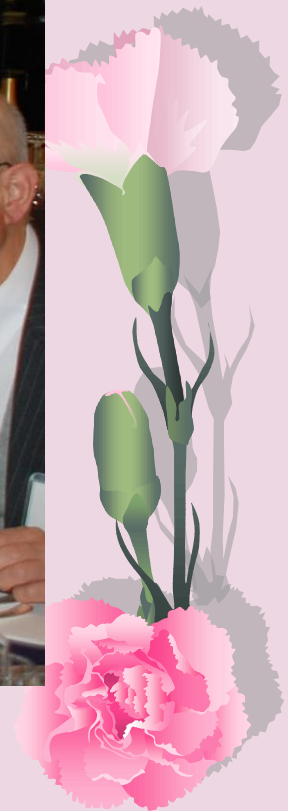
中山ご夫妻と加藤江美様

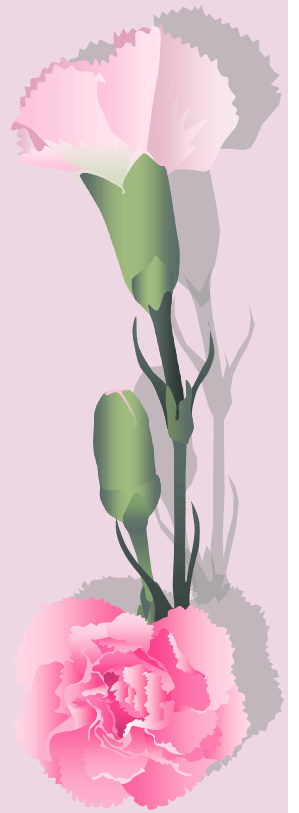


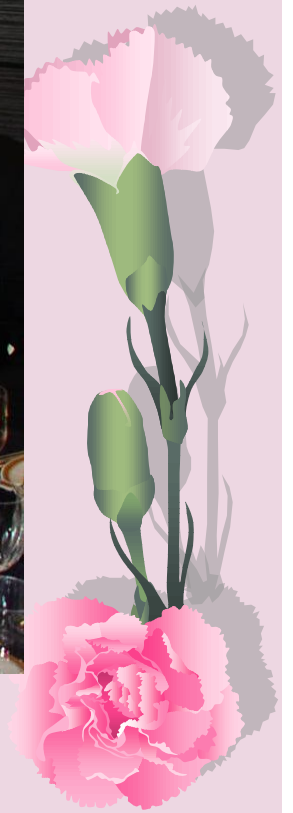
吉武様と加藤江美様

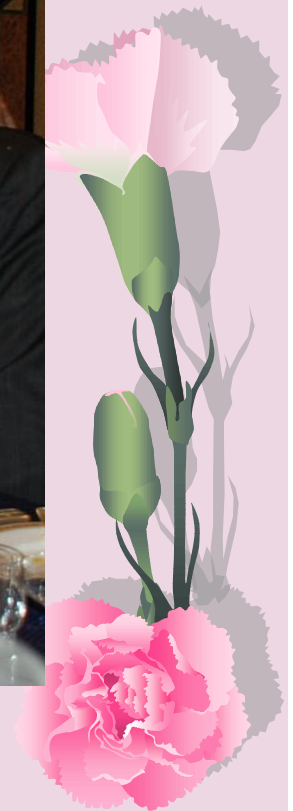




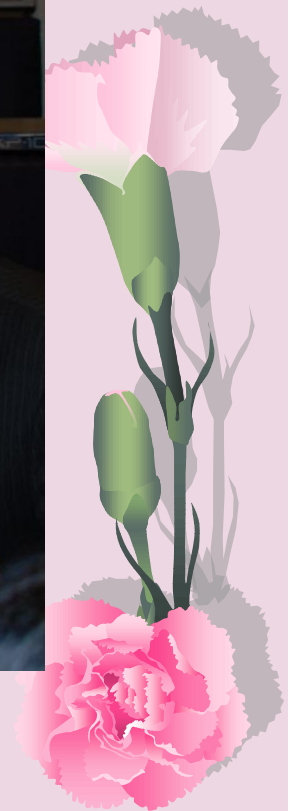


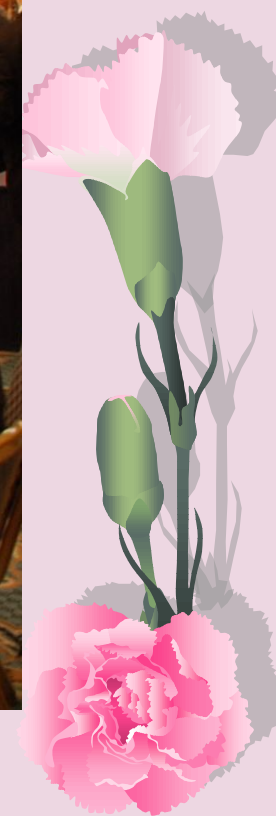


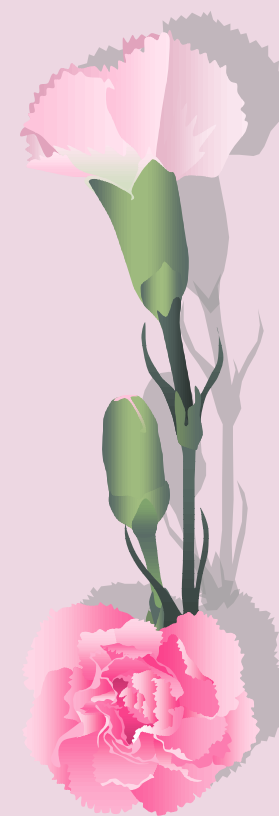










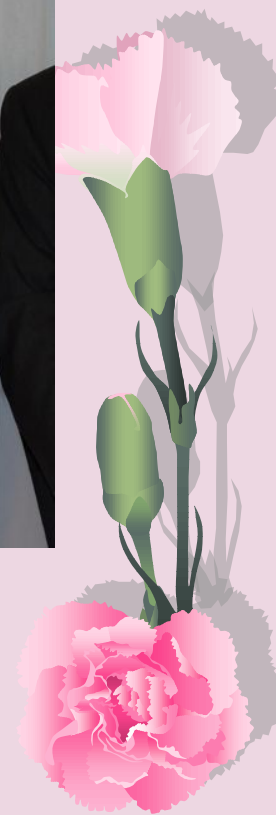




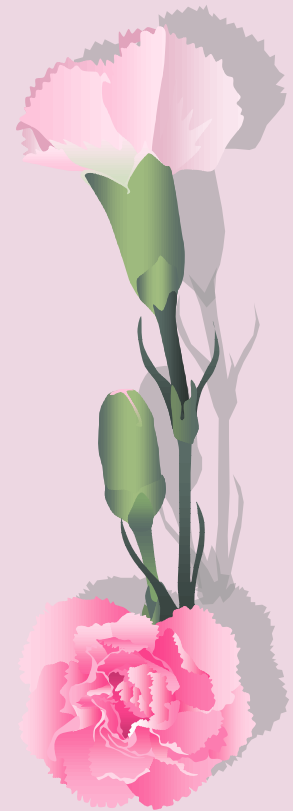
奥様と中西利美様



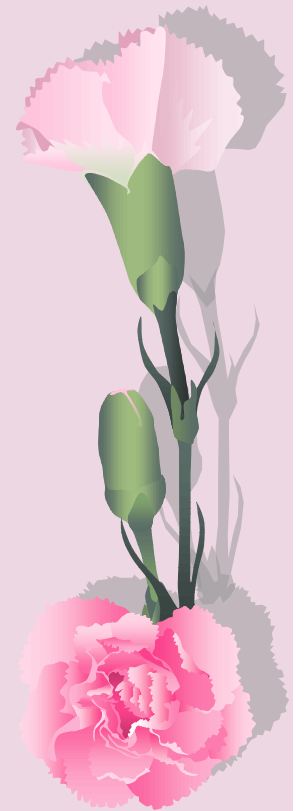
奥様と藤井美智子様



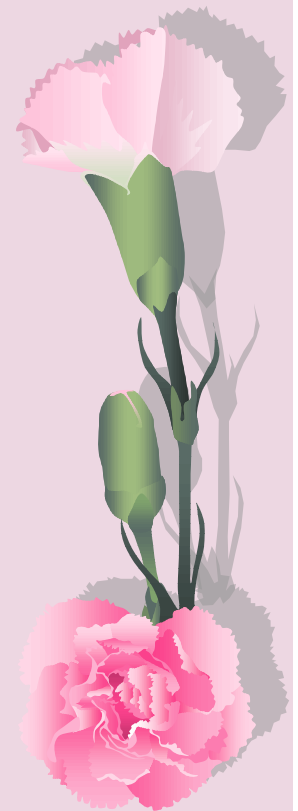
お話
(社) 日本技術士会元副会長
本田尚士様



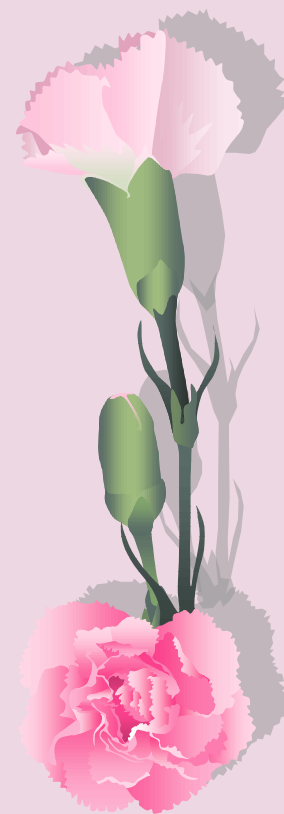
お話・
(社) 日本技術士会東北支部長
吉川謙造様



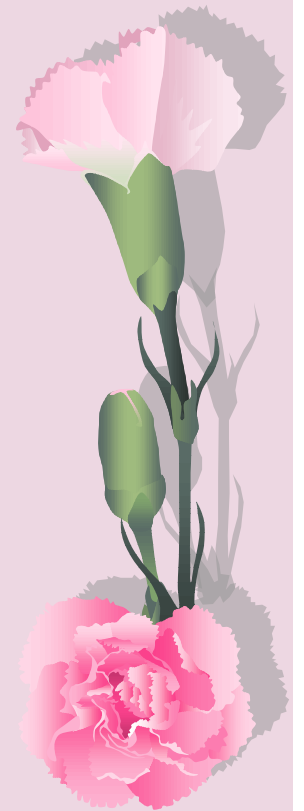
お話・
日韓技術士会議実行委員会委員
伊藤徹様



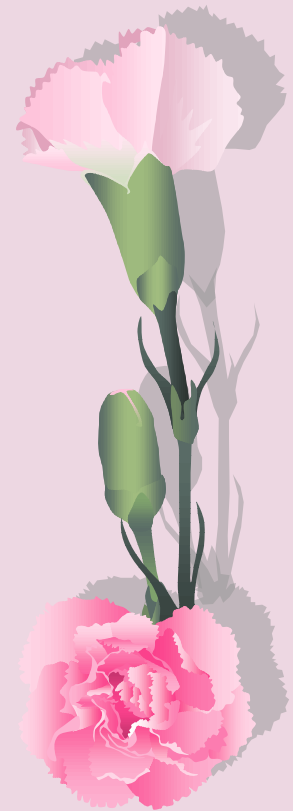
お話
(社) 日本技術士会専務理事 高木譲一様

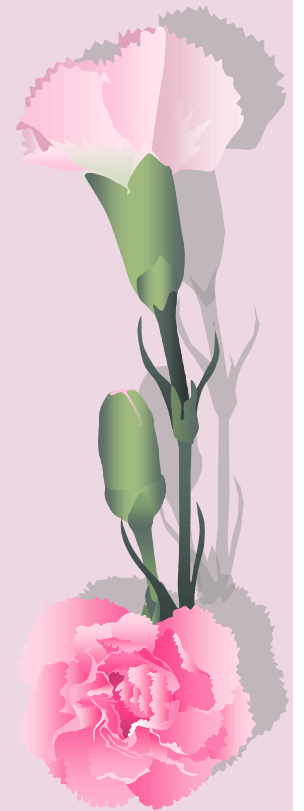


加藤江美様 (ソプラノ/歌手) と 法領田れい子様 (ピアノ)



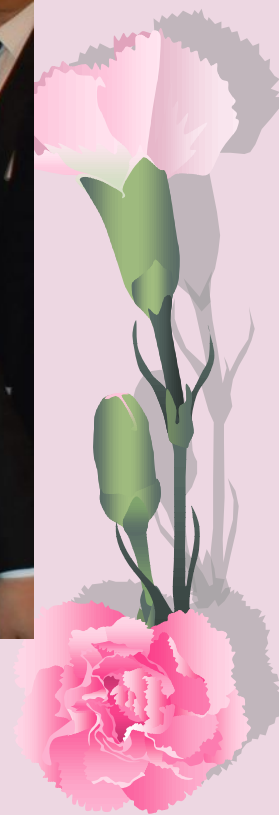
山輝也様の洪沢栄一賞受賞をお祝いする集い

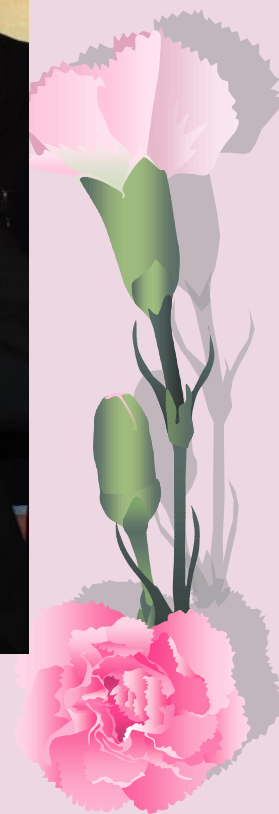


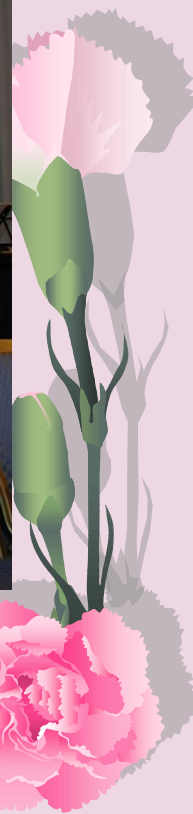


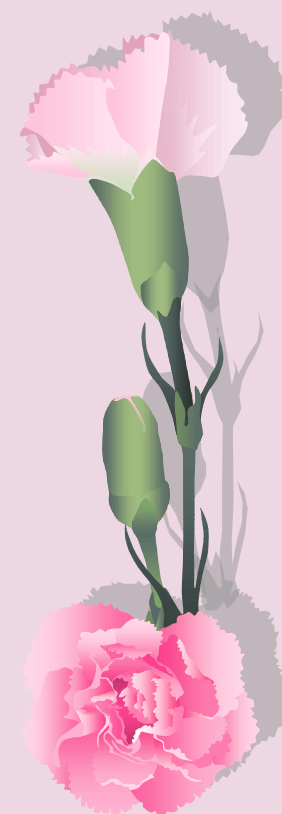


中山輝也様の洪沢栄一賞受賞をお祝いする集い





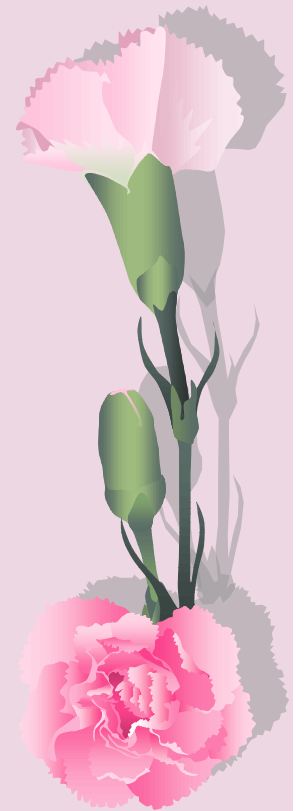




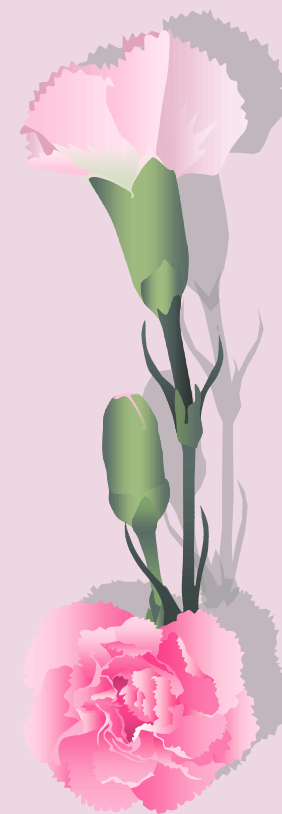
閉会のことば (社) 日本技術士会副会長 山崎宏様



司会
(社) 日本技術士会副会長 内村好様



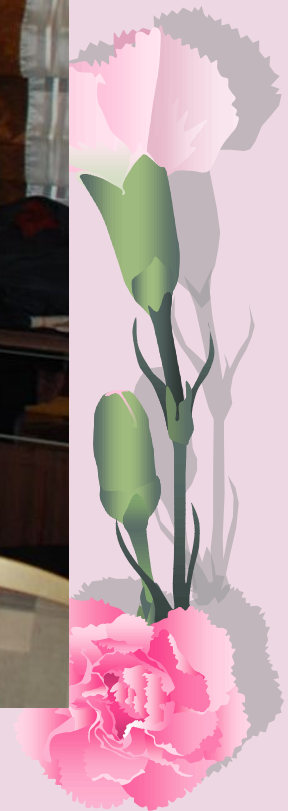
中山様ご夫妻と吉武様・内村様

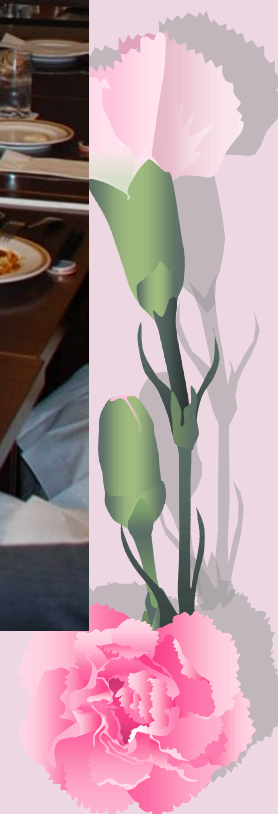


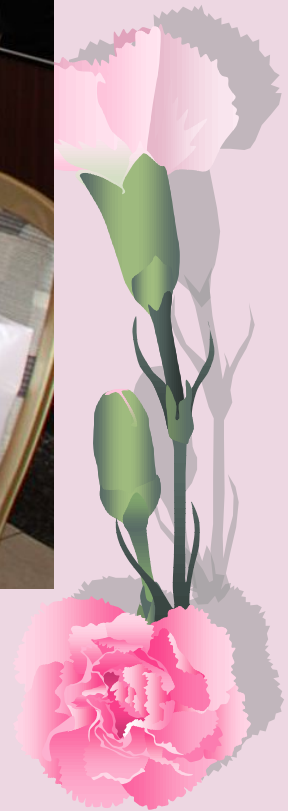
ご出席者全員の記念撮影



中山夫妻を囲んで (チャタベ-ス)







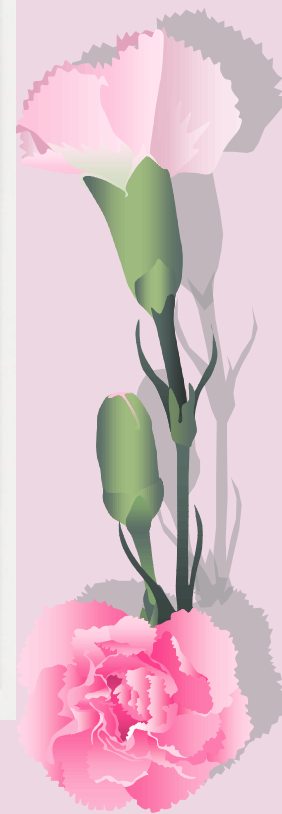


中山輝也様渋谷栄一賞受賞をお祝いする集い



2011年3月8日(火)

ニューオータニイン東京に於て





Menu



<オードブル>

魚介のムース ガトー仕立て
プチサラダ添え

<スープ>

グリーンピースのポタージュ

<魚料理>

真鯛と海老のポワレ
アンチョビとマッシュルームのソース

<肉料理>

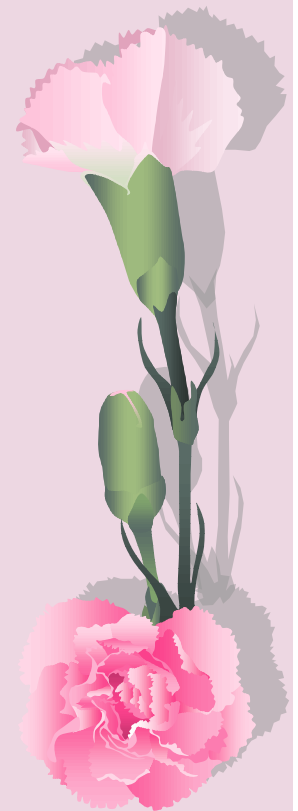
ブラックアンガス牛フィレ肉のステーキ
パイ仕立て

パン

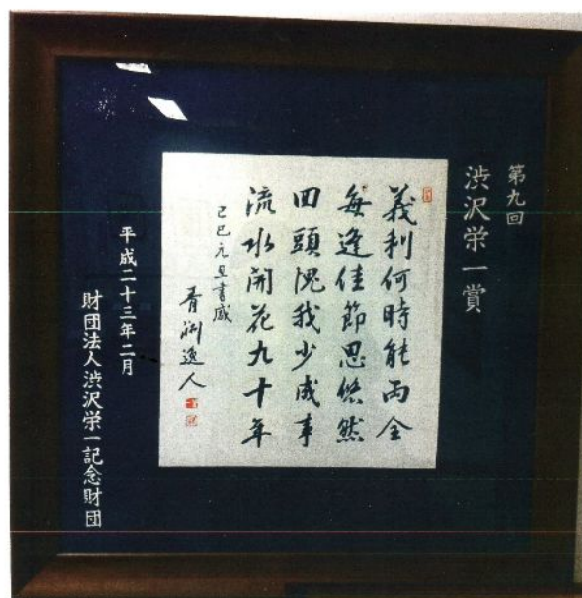
<デザート>

苺のショートケーキ
苺のパンナコッタ

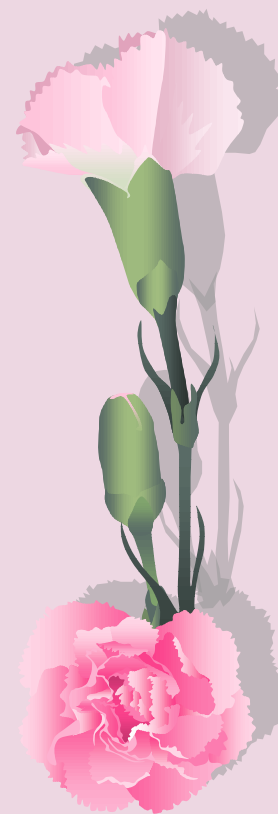
コーヒー または 紅茶



中山 輝也様の 渋沢栄一賞受賞をお祝いする集い



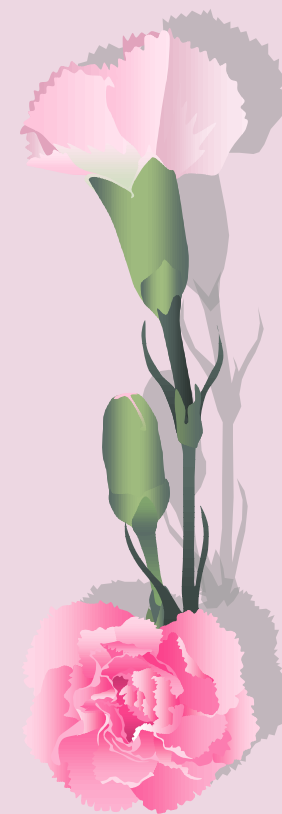
平成23年3月8日(火)午後6時より
ニューオータニイン東京「おおとりの間」



式 次 第

独 唱	二期会ソプラノ歌手	(敬称略) 加藤 江美
【司 会】	副会長	内村 好
開会のことば	元副会長	吉武 進也
会長・発起人代表挨拶	会長	高橋 修
お祝いのことば	顧問・元会長	梅田 昌郎
お祝いのことば	顧問・前会長	都丸 徳治
記念品贈呈	顧問・元会長	佐藤 清
花束贈呈	日韓技術士会議実行委員会委員 前中・四国支部長	中西 利美 牧山 昭彦
謝 辞	澁澤栄一賞受賞者	中山 輝也
乾 杯	顧問・元会長	清野 茂次
	(会 食・懇 談)	
お話	元副会長	本田 尚士
お話	東北支部長	吉川 謙造
お話	日韓技術士会議実行委員会委員	伊藤 徹
お話	専務理事	高木 譲一
音 楽	二期会ソプラノ歌手 シンセサイザー・ピアニスト	加藤 江美 法領田れい子
閉会のことば	副会長	山崎 宏

★集合写真撮影



参加者名簿

氏名	テーブル
中山 輝也 様	A
中山 和子 様	A

氏名	テーブル
安藤 正博	B
井出 宏	D
伊藤 徹	F
稲垣 正晴	F
井上 祥一郎	E
岩熊 まき	B
植村 勝	C
○ 内村 好	B
○ 梅田 昌郎	A
大島 紀房	C
大谷 政敬	E
大塚 直吉	E
岡崎 孝雄	F
小熊 修徳	E
尾島 正男	D
掛川 昌俊	G
笠原 弘之	G
加藤 江美	A
君島 光夫	D
木村 弘子	C
黒澤 兵夫	G
黒澤 豊樹	B
高堂 彰二	G
湖上 国雄	E
奥石 元嗣	E
小林 武夫	E
小林 洋一	D
小針 輝夫	B
阪本 三郎	E
○ 佐藤 清	A
佐藤 直衛	E
澤栗 裕二	D
末利 てつ	B
砂川 徹男	F
○ 清野 茂次	A
○ 高橋 修	A
武内 譲二	F
田仲 喜一郎	F
田中 俊生	G
田中 久雄	E
田吹 隆明	G
田村 裕美	G
茶木 英一	C
辻本 仁一	D
○ 都丸 徳治	A
○ 富田 武彦	G
長友 正治	D
中西 利美	F
中原 幸政	F

(敬称略、氏名五十音順)
(○は発起人)

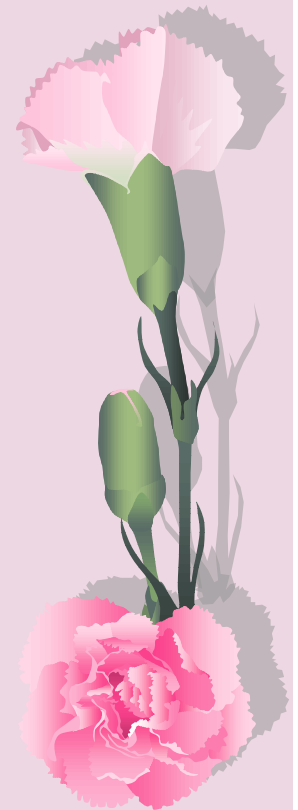
氏名	テーブル
昌中 武文	D
氷上 克一	F
平野 輝美	G
福岡 悟	C
藤井 三千勇	F
藤井 美智子	F
法領 田れい子	H
○ 本田 尚士	B
本田 直子	B
前田 武光	C
牧山 昭彦	C
宮島 信夫	E
宮原 宏	G
森田 裕之	G
安田 晃	D
山口 豊	D
○ 山崎 宏	B
吉川 謙造	C
吉田 克己	B
吉田 保	D
○ 吉武 進也	A
渡邊 嘉男	C

(事務局)

氏名	テーブル
竹下 功	C
樋口 晃敏	H
畠山 正樹	H
小山 一男	H
○ 高木 譲一	A
西村 文夫	H
横山 治良	H
渥美 純一	H
青木 章吾	H
井上 勝彦	H
籠原 一誠	H
今泉 王子	H

(ご芳志を頂いた方)

上林 好之
小出 剛
斉藤 有司
佐藤 国仁
田尻 久美子
館谷 清
橋本 義平
備瀬 ヒロ子
古川 博
溝辺 哲男



渋沢栄一賞について

渋沢栄一翁は、天保11年（1840年）2月埼玉県深谷市に生まれました。

幕末の動乱期に一橋家に仕えた渋沢翁は、27歳の時にフランスへ渡り、そこで、西欧の進んだ政治、経済、文化を目の当たりにします。

帰国後の渋沢翁は、明治新政府で大蔵省に仕えますが、程なく実業界へと転身し、多くの企業の設立やその育成に尽力し、「日本近代経済社会の父」と呼ばれました。

また、渋沢翁はその一方で、福祉や教育などの社会事業にも熱心に取り組み、病院や教育施設の整備のほか、災害救援や国際親善にも大きな功績を残しました。

『論語』を模範とし、常にその精神を尊重してきた渋沢翁は、営利の追求も、資本の蓄積も、



道義に合致し、仁愛の情にもとらぬものでなければならぬとする「道徳経済合一説」を唱えました。

生涯を通じて、偉大な経済人であると同時に、一人の人間としても優れた道徳を持ち続けた翁の思想は、今日の私たちの生き方にも、多くの示唆を与えています。

渋沢栄一翁の出身地である埼玉県が平成14年(2002年)に渋沢栄一賞を制定し、「多くの企業の設立や育成に携わる一方で、福祉や教育などの社会事業にも尽力した渋沢栄一の行き方や功績を顕彰するとともに、今日の企業家のあるべき姿を示すため、渋沢栄一の精神を今に受け継ぐ全国の企業または企業経営者に『渋沢栄一賞』を贈ります。」としています。本年の第9回の受賞者を含め、これまでに全国で24名が受賞しています。

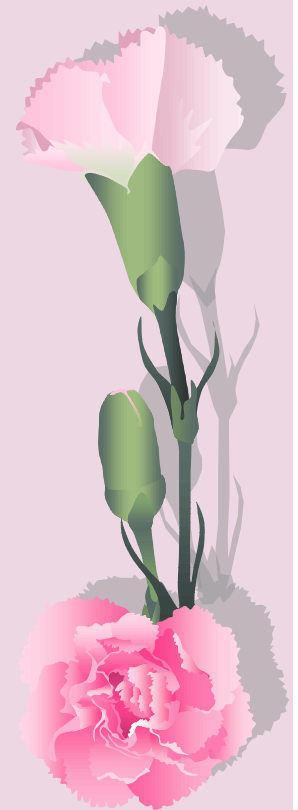
（埼玉県ホームページ等より）

中山 輝也様 略歴

昭和12年 新発田市生まれ
35年 新潟大学理学部地質鉱物学科卒業
35年 応用地質株式会社勤務
36年 新潟県採用（土木部砂防課を経て河川開発課係長で退職）
48年4月 株式会社キタック設立
平成元年7月 財団法人環境地質科学研究所設立
8年5月 知足美術館設立
18年2月 社会福祉法人知足常楽会設立

主な受賞

昭和58年8月 中国政府農牧漁業部・黒龍江省人民政府（感謝状）
平成7年4月 国務大臣 科学技術庁長官賞（科学技術振興功績者）
9年1月 日刊工業新聞社 経営者賞（地域社会貢献）
11年9月 新潟市長感謝状（経済振興功績）
19年11月 旭日双光章
20年2月 大韓民国政府副総理兼科学技術部長官賞（日韓技術交流推進）



中山 輝也様の日本技術士会におけるご活躍

昭和48年12月 入会

理事：昭和60年5月～平成元年5月、平成9年6月～平成13年6月（副会長）

平成17年6月～平成21年6月

北陸支部長：昭和58年度～昭和59年度、平成元年度～現在に至る

政策委員会委員：平成元年7月～平成14年5月

事業委員会委員：平成13年9月～平成15年7月

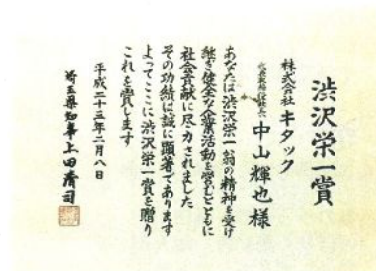
日韓産業構造調査研究委員会委員：平成5年3月～平成13年6月

日韓技術士会議実行委員会委員長：平成13年7月～現在に至る

国際特別委員会委員：平成17年3月～平成20年1月



上田埼玉県知事からの洪沢栄一賞受賞



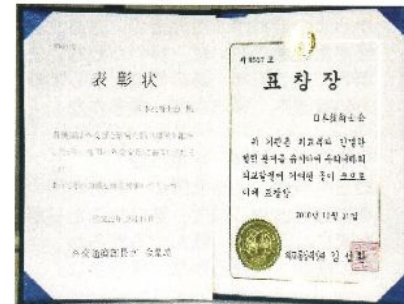
表彰状



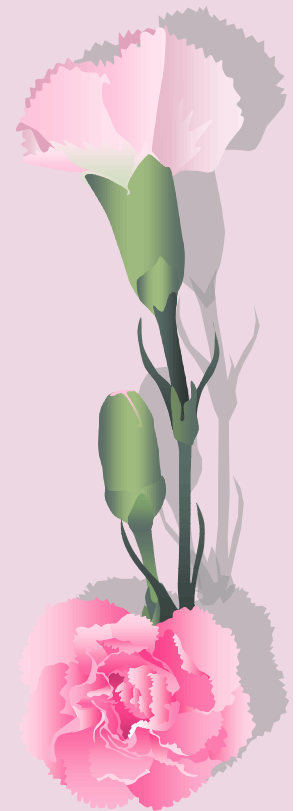
レセプションにて



洪沢栄一賞 副賞



大韓民国 科学技術部長官賞(平成 22 年 12 月)



新潟ブルース

(山岸一二三 作詞 水沢圭吾 補作詞
山岸英樹&中川博之 作曲 小杉仁三 編曲)

思い出の夜は 霧が深かった
今日も霧がふる 万代橋よ
別れの前に 抱きしめた
小さな肩よ
ああ新潟は新潟は
面影の街

忘れられなくて ひとりさまよえば
青い灯がゆれる 新潟駅前
愛したわけじゃ ないんだと
強がり言え
ああ新潟は新潟は
霧に更けゆく

忘れられなくて ひとりさまよえば
青い灯がゆれる 新潟駅よ
愛したわけじゃ ないんだと
強がり云え
ああ 新潟は新潟は
霧に更けゆく

北国の春

(いではく 作詞 遠藤 実 作曲)

白樺 青空 南風
こぶし咲くあの丘北国の ああ北国の春
季節が都会では わからないだと
届いたおふくろの 小さな包み
あの故郷へ 帰ろかな 帰ろかな

雪どけ せせらぎ 丸木橋
からまつ芽がふく北国の ああ北国の春
好きだとおたがいに いいだせないまま
別れてもう五年 あの娘はどうしてる
あの故郷へ 帰ろかな 帰ろかな

やまぶき 朝霧 水車小屋
わらべ唄きこえる北国の ああ北国の春
あにきもおやじ似で 無口なふたりが
たまには酒でも 飲んでるだろか
あの故郷へ 帰ろかな 帰ろかな

酒と泪と男と女

(河島英五 作詞/作曲)

忘れてしまいたいことや
どうしようもない寂しさに
包まれたときに男は
酒を飲むのでしょう
飲んで飲んで 飲まれて飲んで
飲んで飲みつぶれて 眠るまで飲んで
やがて男は静かに 眠るのでしょう

忘れてしまいたいことや
どうしようもない悲しさに
包まれたときに女は
涙みせるのでしょう
泣いて泣いて ひとり泣いて
泣いて泣きつかれて 眠るまで泣いて
やがて女は静かに 眠るのでしょう

またひとつ女の方が 偉く思えてきた
またひとつ男のずるさが 見えてきた
俺は男 泣きとおすなんて出来ないよ
今夜も酒をあおって 眠ってしまうのさ
俺は男 涙はみせられないもの
飲んで飲んで 飲まれて飲んで
飲んで飲みつぶれて 眠るまで飲んで
やがて男は静かに 眠るのでしょう

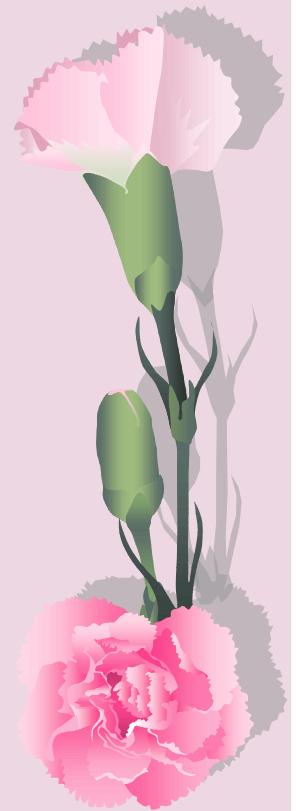
花

(武島羽衣作詞 瀧廉太郎作曲)

春のうらの 隅田川
のぼりくだりの 船人が
權のしずくも 花と散る
眺めを何に 喻うべき

見ずやあけぼの 露浴びて
われにもの言う 桜木を
見ずや夕ぐれ 手をのべて
われさしまねく 青柳を

錦織りなす 長堤に
暮るればのぼる おぼろ月
げに一刻も 千金の
眺めを何に 喻うべき



離別(イビヨル)

(吉屋潤 作詞/作曲)

* 時には思い出すでしょう
冷たい人だけど
あんなに愛した思い出を
忘れはしないでしょう *

青い月を見上げ 一人過ごす夜は
誓った言葉を くり返し
逢いたくなるでしょう
山越え遠くに別れても
海の彼方 遙か離れても

(※くり返し)

あなたの噂を 風が運んで来る夜は
寄せては返す 淋しさに
心を揺らすでしょう
流れ行く月日が 全てを変えるでしょう
たとえ二人の炎が 燃え続けていても
山越え遠くに別れても
海の彼方 遙か離れても

(※くり返し)

山越え遠くに別れても
海の彼方 遙か離れても
(※くり返し)



加藤 江美 (ソプラノ)

国立音楽大学声楽科卒業。二期会会員。
「フィガロの結婚」など多数のオペラに出演。クラシック以外でもミュージカル、シャンソン、童謡、タンゴ、ポピュラーと幅広いレパートリーでコンサート、ディナーショー、イベントに招かれ出演している。2000年より地域に根ざした活動に取り組み始め文化庁、立川市共催の市民ミュージカル「樺の街で」の歌唱指導と共に出演。
また、加藤江美とアンサンブル・ヴェール(ソプラノ、ピアノ、シンセサイザー、パーカッション、トランペットなど)を率いて演奏活動をしている。

愛燦燦

(小椋 佳 作詞/作曲)

愛漣々と この身に落ちて
わずかばかりの運の悪さを 恨んだりして
人は悲しい 悲しいものですね
それでも過去たちは 優しく睫毛に憩う
人生で 不思議なものですね

風散々と この身に荒れて
思い通りにならない夢を 失くしたりして
人はか弱い か弱いものですね
それでも未来たちは 人待ち顔をして微笑む
人生で うれしいものですね

愛燦々と この身に降って
心密かなうれしい涙を 流したりして
人はかわいい かわいいものですね
ああ 過去たちは 優しく睫毛に憩う
人生で 不思議なものですね

ああ 未来たちは 人待ち顔をして微笑む
人生で うれしいものですね

故郷

(高野辰之作詞 岡野貞一作曲)

兔追いし かの山
小鮒釣りし かの川
夢は今も めぐりて
忘れがたき 故郷

如何に在ます 父母
恙なしや 友がき
雨に風に つけても
思い出ずる 故郷

志を はたして
いつの日にか 帰らん
山は青き 故郷
水は清き 故郷

法領田 れい子 (シンセサイザー)

国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業
東京室内歌劇場、日仏歌曲研究所のピアニストを務め現在、国立音楽大学にて伴奏ピアニスト。
声楽、器楽の伴奏者としてコンクール、各地の演奏会に出演している。



このスライドは下記の方々の尽力で作られました。

**企画・構成
受付・事務局**

**写真撮影
スライド構成**

**吉武進也
西村文夫
籠原一誠
井上勝彦
今泉王子
井上勝彦
神戸良雄**

